

水産庁
スマート水産業現場実装委員会
出前授業資料

FUJITSU

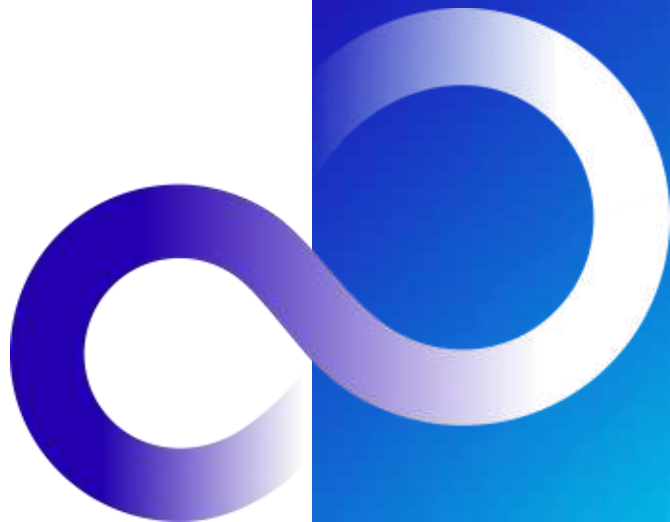
ウニ陸上養殖新産業による 地方創生の実現に向けて ～北海道神恵内村 事例紹介～

＜2025年度版＞

富士通株式会社

グローバルコンサルティングビジネスグループ

小葉松 知行



“Fishtech(フィッシュテック)” コンセプトのご紹介



富士通の提案する新しい水産業



FUJITSU Fishtech®



乱獲や環境破壊によって、ここ40年で地球の水産資源が半減したと言われており、今、世界的に水産業の在り方が見直されています。富士通は、水産業のサプライチェーン全体をICTのテクノロジーでサポートし、持続可能な発展に貢献します。

2024年現在、サステナブルな水産業の実現に向け、世界レベルでのIUU漁業の撲滅や、企業のサプライチェーン責任が求められており、更には気候変動対策も急務となっています。



フォーカスポイント（陸上養殖DXから開始）



水産業サプライチェーンの中から、市場成長率・事業親和性などの理由により、“陸上養殖”領域にフォーカスし、実証開始。
DXソリューションの開発に成功

Fishtech 養殖管理



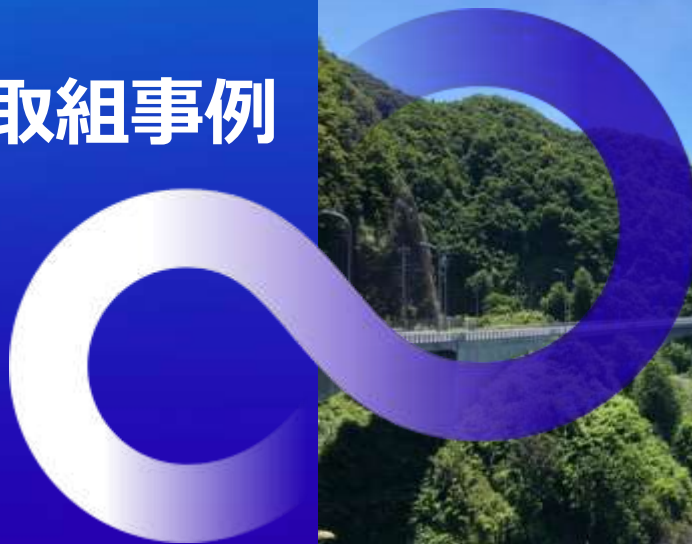


Fishtech 養殖管理とは

資源枯渇・食糧不足を救う、養殖の高度化を支援する養殖管理システム。センサー、カメラと連携し生け簀の水質を見える化、日々の作業を作業管理でデータ化することで、経験や勘に頼らないスマートな養殖をご支援いたします。



北海道神恵内村の取組事例



Case: 北海道神恵内村

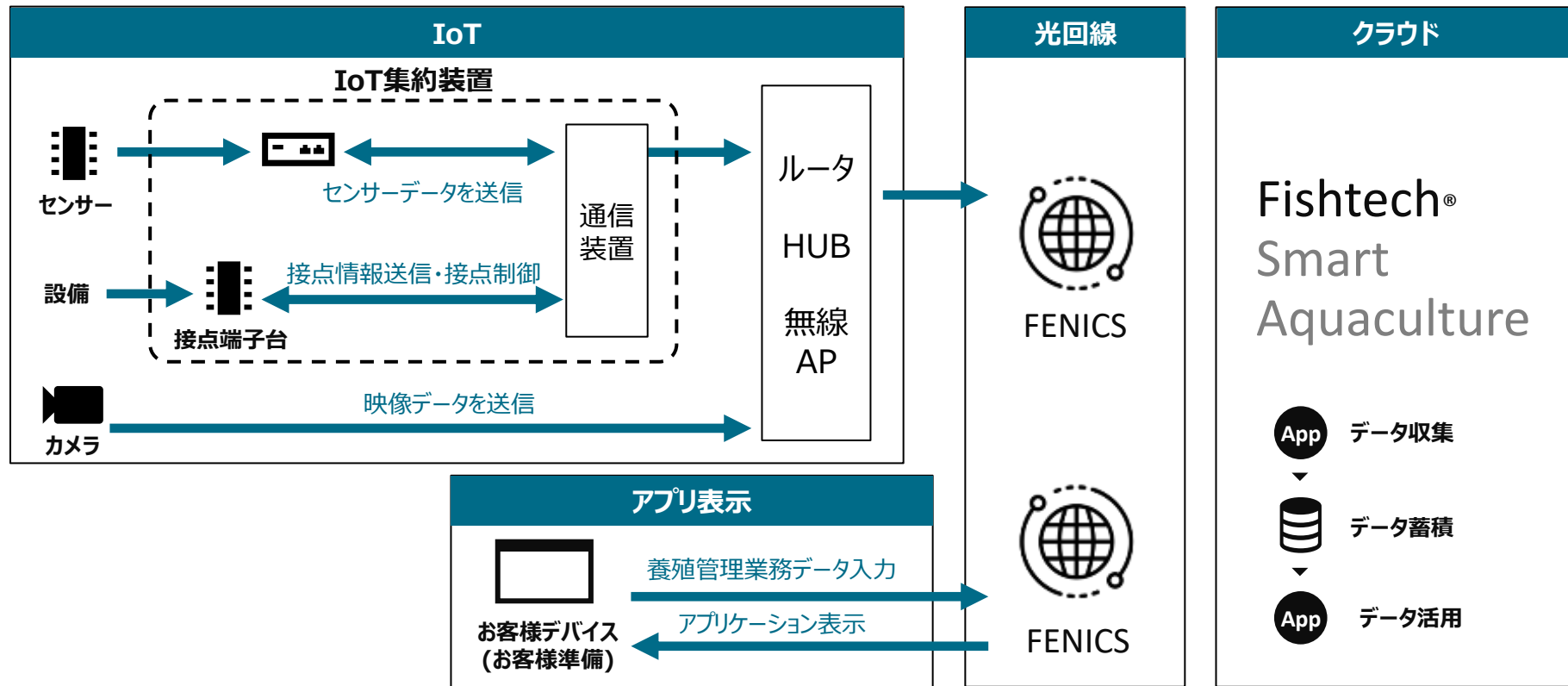
Fishtech 養殖管理

北海道神恵内村の課題

北海道で2番目に人口が少ない村、神恵内。担い手不足や高齢化の影響で、主要特産物であるウニ・ナマコの総漁獲量低下が課題となっています。

ウニ・ナマコの養殖を支援

天然資源の漁獲だけでなく、養殖という選択肢を加えることで通年出荷を可能にし、原料の安定供給をはかります。
この事業の要が、養殖管理システム「Fishtech養殖管理」です。



デザインが導く新しい世界

Fishtech養殖管理は、デザインを重視した開発プロセスから生まれました。システムに関わる全ての人を考慮し、使いやすく、美しい。水産×デザインの方で、Sustainableを実現します。



ブランド価値向上に活躍

管理業務を超え、広報ツールとしての役割も果たします。ライブ映像、在庫、作業内容、水質状態を滞りなくプレゼンテーションすることが出来、特産物の売り込みに活躍しています。

マルチデバイス対応

デバイスを問わず一貫した操作性を提供。カラーアクセシビリティと文字のコントラスト比に配慮され、老若男女問わず、使い慣れた端末で養殖管理に従事することができます。



神恵内の奇跡を、
あなたのまちに。

多様なセンサーとIoT連携

IoT連携により、水温など12項目を取得し、リアルタイムで表示。適正範囲からの逸脱時は、担当にメールとUIで警告を伝えます。AIによる解析を見据え、データはクラウドに蓄積されます。



遠隔からの目視確認

水中カメラは、パン・チルト・ズームの操作が可能です。掃除のタイミングや餌の食べ具合を遠隔で確認することができ、現場に行く手間を削減、人手不足解消に貢献しています。



働き方改革をサポート

地域の持つ育成技術やノウハウをメニュー化し、最少手番で作業を記録することが出来ます。作業実績をシェアすることにより、属人化を避け作業分担を可能にしています。



富士通Japan株式会社
小葉松 知行
(ビジネスプロデューサー)



神恵内村
高橋 昌幸 村長



地域商社キットブルー
大塚 英治 代表取締役



神恵内ファミリー（産官金言連携）で地域活性化

産

地域商社



地元企業

沿海調査
エンジニアリング

大企業



官



金

(シンクタンク)



言

北海道新聞社

経
費

平成30/31/令和2年度エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金を活用



ロードマップ策定(社会貢献)

- ・ 陸上養殖商用化による年商**5億円**規模の新産業創出ロードマップ策定。

生産性の向上(社会貢献)

- ・ ICTを活用し、業務効率化とデータ利用自動化により**30%**生産性を向上。

地域産品の新ブランド創出(社会貢献)

- ・ 新ブランド「冬うに」2019年約**500万**の売上
高級店（**20社**）や都市部個人顧客（**300人**）との取引で、新たな商流を確立

地域の知名度・イメージ向上ならびに地域経済への還元(社会貢献)

- ・ メディア露出により視察が**400%**増加。のべ**200名**。
（水産庁長官、北海道総合通信局長、北海道副知事、県・町村議会、豪領事館、香港メディアなど）
- ・ 関係人口がメディア露出により取組前と比較して**280人**増加。

フードロス削減(環境貢献)

- ・ 本来廃棄予定の近隣地域白菜約**2トン**使用によりフードロス削減に貢献。

磯焼けリスクの削減(環境貢献)

- ・ 磯焼け要因であるウニを使用し、磯焼けリスクを削減(海の厄介者を美味しく再生)

ASPIC IoT部門「総合グランプリ」受賞

一般社団法人ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会が主催する『ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2020』で「Fishtech養殖管理」が **IoT部門の最高位の賞である「総合グランプリ」を受賞。**



一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会
[協会の目的と活動] ASP・SaaS・IoT クラウド Consortium

ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2020

会員ビジネス支援・イベント

- クラウド研究会
- 情報開示認定申請セミナー
- 会員情報交流会
- 国際アライアンス
- 専門分野生採用情報支援
- 新参情報講演会・賛同交流会
- 定例総会
- ASPICアワード

第14回

第13回

第12回

第11回

表彰式

プレスリリース	表彰式のプレスリリースはこちら(PDF:750KB)
表彰式日時	2020年11月27日(金) 18:30~19:30
会場	経団連会館 国際会議場 (千代田区大手町1-2-3)



内閣府「第3回 日本オープンイノベーション大賞 農林水産大臣賞」受賞JITSU

内閣府が主催する『第3回 日本オープンイノベーション大賞』で神恵内村の地域課題解決に富士通グループのDX技術で挑む取組が、**農林水産大臣賞を受賞** (<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/210210.html>)

「第3回 日本オープンイノベーション大賞」における農林水産大臣賞受賞者の決定及び表彰式の開催について

Tweet 画像

令和3年2月18日

農林水産省

我が国のオープンイノベーション推進のため、先進的又は独創的な取組に対して内閣府において表彰を行う。「第3回 日本オープンイノベーション大賞」の農林水産大臣賞受賞者が決定しましたので、お知らせします。

表彰式は、令和3年2月25日（木曜日）に産/官/民/学フォーラム（東京都港区）で行います。

表彰式の様子はオンライン配信を予定しています。後援を希望される方は、内閣府ホームページよりお申し込みください。

1. 「日本オープンイノベーション大賞」について

「日本オープンイノベーション大賞」では、ロールモデルとなる先進的又は独創的な取組の表彰と発信により、オープンイノベーションをさらに普及させ、我が国のイノベーション創出を加速することを目的としています。農林水産省では、農林水産業及び関連産業の発展の観点から、特に顕著な取組が認められる個人又は団体を表彰し、農林水産大臣賞を授与します。

賞の種類：内閣府賞、科学技術政策担当大臣賞、経済大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、スポーツ庁長官賞、日本経済団体連合会会長賞、日本学術会議会長賞、選考委員会特別賞

2. 農林水産大臣賞受賞者について

(1) 取組・プロジェクト名称

陸上養殖新産業による食糧危機の解決/地方創生

＊取組・プロジェクトの概要は、資料1を御覧ください。

(2) 受賞者

- ・神恵内村市長 高橋 昌幸
- ・株式会社沼津調査エンジニアリング 代表取締役社長 大塚 英治
- ・富士通株式会社北海道支社支吾・農林水産ビジネス部 担当 伊藤 達
- ・富士通株式会社JAPANビジネスグループビジネスクリエーション統括部 政策運動ビジネス推進部 マネージャー 小堀松 知行
- ・富士通株式会社JAPANビジネスグループビジネスクリエーション統括部 政策運動ビジネス推進部 担当 武野 竜也



- 神恵内村×Fishtech養殖管理 ご紹介動画

https://youtu.be/ijF_brUVviA

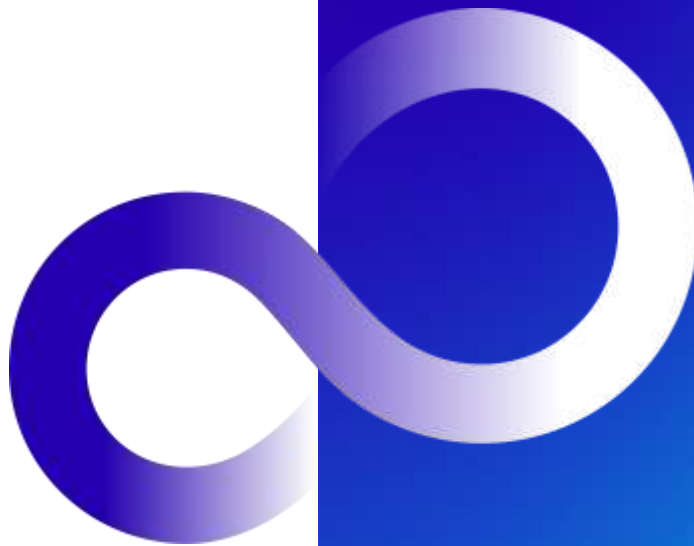
- プレスリリース～北海道神恵内村で、IoTを活用したウニ・ナマコ陸上養殖の実証実験を開始～（2019年4月16日）

<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2019/04/16-1.html>

- 次なる挑戦～DX専門人材×神恵内村～

<https://www.fujitsu.com/jp/microsite/fujitsutransformationnews/2021-11-22/01/>

Thank you



富士通株式会社
グローバルコンサルティングビジネスグループ
小葉松 知行
E-Mail : koba2000@fujitsu.com